

音阿弥(観世元重)

おんあみ

・・・・・・・・ 1398 =

能役者。3代目の観世大夫。舞の達人で、世阿弥とその子観世元雅を圧倒し、金春禅竹と双壁視。

生、_世阿弥の弟の四郎の子で観阿弥の孫。
一時は世阿弥の養子だったらしい。

・・・・・・・・ 1407 = 9歳 :

足利義満没・1408 = 10歳 :

・・・・・・・・ 1413 = 15歳 : この年から活動記録があり、

上杉禅秀の乱1416 = 18歳 :

將軍不在化・1425 = 27歳 :

・・・・・・・・ 1427 = 29歳 : _青蓮院門跡義円(足利義満の子)の後援で勸進猿楽を興行すると、
義教籤引將軍1428 = 30歳 : *偶然にも、足利義持が死去して義円が後継者に選ばれたことから、運が開け、
新將軍義教の絶大な後援下に、_世阿弥やその子観世十郎元雅を圧倒するに至る。

・・・・・・・・ 1433 = 35歳 : 元雅が早世した翌年、_観世大夫となり、その披露の意味の勸進猿楽が將軍主催の形で3日間催された。

世阿弥配流・1434 = 36歳 :

その後、一時的に義教の不興をこうむったこともあるが、_芸能界の第一人者の地位を持続し、世阿弥の時代には観世と並んで將軍の後援を受けていた田楽新座や近江猿楽比叡座の勢力を失墜せしめ、幕府と観世座の結びつきを不動のものにしている。

永享の乱始・1438 = 40歳 :

嘉吉の乱・ 1441 = 43歳 : *義教が赤松邸で音阿弥の能の最中に暗殺されて、しばらく困窮したが、

対馬嘉吉条約1443 = 45歳 :

足利義政將軍1449 = 51歳 : *以降、足利義政が彼を後援したため再び時めき、

・・・・・・・・ 1452 = 54歳 :

道灌江戸城始1457 = 59歳 : この頃、_出家して音阿弥と称し、子の又三郎政盛に観世大夫を譲ったが、

_依然能役者として活動し、

蓮如御文始・1461 = 63歳 :

・・・・・・・・ 1464 = 66歳 : _政盛が將軍義政の後援で催した糺河原勸進猿楽でも、3日間計29番の能のうち12番のシテを務めて、

応仁の乱始・1467 = 69歳 : _没した。

'希代の上手、当道に無双'と惜しまれ、能役者としては世阿弥以上の達人であったらしい。